

RC交換留学生 知事表敬

深志高・藤崎悠理さんら

長野県で活動する奉仕団体の国際ロータリー(RC)第2600地区の青少年交換留学事業で海外に1年間派遣された、帰国した高校生と、これから1年間受け入れる海外の生徒たちが22日、県庁に阿部知事を表敬訪問



ブラジルで学んできた藤崎さん(右)と、メキシコから訪れ松本深志高校で学ぶセルヒオさん

した。ブラジルから帰国した松本深志高校2年生の藤崎悠理さん(17)＝松本市＝と、メキシコからの留学生で同校で学ぶセルヒオ・ウンベルト・モンシヴァイス・クルースさん(15)ら6人が、活動の成果などを報告した。帰国した3人を代表して、藤崎さんが海外での活動を語った。藤崎さんは昨年7月から今年6月末まで、ブラジルのサンパウロなどで3軒のホストファミリーの世話になったという。ブラジルで多彩な文化に触れ、4つのツアーに参加して約150人の留学生と交流したことや、アマゾン川に浮かべた船の上で1週間過ごした思い出などを話し「地球の反対側であるブラジルに行き、成長できたと思う。この1年間でたくさんの方からいただいた優しさや愛情を、今度は他の方にと伝えられるようになった」と目標を語った。

セルヒオさんは取材に「着物や浴衣といった日本の文化や、江戸時代のサムライに興味がある。日本語を学んで、たくさんの方と友達をつくって、たくさんの方と話すのが楽しみ」と目を輝かせていた。